



令和7年3月
益田市

令和7年3月
益田市

ごあいさつ



益田市では、令和2年に「益田市自転車活用推進計画」を策定し、自転車を活用したまちづくりを積極的に推進してまいりました。市内の企業・事業所のご協力により、「益田市サイクリストサポート企業制度」を創設するなど、官民一体となって、サイクリングを快適に安心して楽しめる環境づくりに取り組んでいます。

自転車競技の関係では、開催回数が10回を超える「益田 I・NA・KA ライド」や「全日本自転車競技選手権大会ロード・レース」など、市民主導の自転車イベントが継続的に開催されることにより、「自転車のまち益田」としての認知が広がっています。

また、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」では、オリンピック憲章の理念を市民と共有するため、アイルランドのparaサイクリングチームの事前キャンプを誘致したところ、益田市を訪れた選手が金メダルを始めとする各種メダルを獲得し、市民に夢や希望を与えてくれました。大会後も、アイルランドの選手が益田市を訪れるなど、東京2020のレガシーとしての友好交流が継続しています。

さらに、2030年に開催される「島根かみあり国スポ・全スポ2030」では、自転車競技(ロード・レース)を含む4競技が益田市で実施されることが決定しており、今後ますます自転車のまちとしての存在感が高まるとともに、市民の間に自転車文化が広がっていくことが期待されています。

自転車の効用と可能性は実に多岐にわたります。爽快な有酸素運動であり、温室効果ガスを排出しないことから、健康的で環境に優しい移動手段であり、取得、維持、活用の経費が低廉で、災害時にも利用できることから、経済的かつ持続可能な乗り物といえます。まさに、自転車活用は、「経済」「社会」「環境」の好循環によるまちづくりの重要な戦略ともなり得るものです。

このたび、これまでの取り組みを踏まえ、「第2次益田市自転車活用推進計画」を策定いたしました。本計画が「自転車によるまちづくり」のマスタープランとして、市民にとって暮らしやすく、国内外から多くの人々が訪れたいくなる益田市の実現につながることを期待しています。

計画の策定にあたっては、庁内関係部署をはじめ、関係機関や益田市自転車活用推進委員の皆さまと、将来の自転車活用に向けて議論を重ねてまいりました。今後は、この計画の実効性を高めるため、関係機関との連携をさらに深め、着実に取り組んでまいります。

最後に、本計画の策定に尽力いただいたすべての関係者の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、実施にあたり市民の皆さまならびに関係各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年3月

島根県益田市長 山本浩章

目 次

第1章 計画の概要	1
1-1 計画策定の趣旨	2
1-2 計画の構成	3
1-3 計画の位置づけ	4
1-4 計画の区域	8
1-5 計画の期間	8
1-6 計画の将来像	9
1-7 自転車によるまちづくりでつくる好影響	10
第2章 自転車を巡る本市の現状	11
2-1 現況把握のための各種調査の実施について	12
2-2 都市環境	13
(1)地勢・人口	13
(2)市民の主な交通・移動手段	15
(3)自転車通行空間に関する取組	16
(4)自転車利用環境に関する取組	17
2-3 健康増進	19
(1)市民の自転車を活用した健康づくり	19
(2)自転車利用の機会創出に関する取組	21
2-4 安全・安心	23
(1)自転車関連事故	23
(2)市民の自転車の安全利用に対する意識	25
(3)交通ルールの周知・啓発に関する取組	29
2-5 観光地域づくり	31
(1)本市の観光動向	31
(2)サイクルツーリズムに関する取組	33
第3章 自転車によるまちづくり施策	36
3-1 施策の基本方針	37
3-2 施策体系	38
3-3 益田市版SDGsと自転車施策との関わり	39
3-4 施策内容	41
(1)都市環境に関する施策	42
(2)健康増進に関する施策	46
(3)安全・安心に関する施策	52
(4)観光地域づくりに関する施策	58

第4章 計画の進行管理	64
4-1 計画の進行管理	65
4-2 重点施策の進捗管理・定量評価	66
4-3 最終目標.....	67
第5章 巻末資料.....	68
5-1 用語集	69
5-2 策定経過.....	71
5-3 益田市自転車活用推進委員会名簿	72